

体操競技またはトランポリンの「コーチ3」専門科目を受講する皆さんへ

2019 年度より、(公財) 日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者制度が大幅に改定され、我が国のスポーツ界全体が方向性を共有した世界基準の新たな制度に生まれ変わる事となりました。

それを受けて、日本体操協会コーチ育成委員会でも体操競技、新体操及びトランポリンの各々の専門科目カリキュラムを見直し、受講者にはより現実的で、より現場に即した講習内容を提供し、実りあるコーチ養成講習会に改善すべく取り組みを進めてまいりました。

特に、従来の講習会で行なわれてきた知識一辺倒のいわゆる講義形式には偏らず、指導者とはどうあるべきなのか。また、日頃培ってきた豊富な経験や知識をどうやって活かすのかなど、指導者として肝心な指導体制や指導技術を振り返る機会を重視し、指導者間の情報交換やノウハウを共有することに重点を置きました。

この講習会では、自らが考え、学び、改善点を発見し、今後の指導現場に反映させる原点の機会になることを期待しております。

(公財) 日本体操協会コーチ育成委員会

専門科目受講に向けた事前学習 (8 時間)

公認スポーツ指導者制度の改定に伴い、時間配分「その他」(20 時間)を有効に使うこととなりました。「その他」の時間総数については、従来と何ら変更はありません。

ただし、新カリキュラムでは「事前学習」に 8 時間、「事後学習」に 12 時間を割り当てどちらもレポートを作成、それを提出し評価を受けるシステムに変わりました。

レポートの課題は、カリキュラム内に編成されている科目に関連した事象でしかも受講者が常に指導現場で直面している題材を取り上げることとしています。

体操競技またはトランポリンを受講者の皆さんには、是非、添付の「コーチ3 専門科目 / 事前学習課題」に回答し、講習会の受講準備をしていただきたくお願いします。

なお、回答用の書式も添付していますので、これを取得し、使用してください。

以上